

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.5

名前

得点

/9

問1 ラテンアメリカでは、大航海時代以降の歴史的背景から多様な混血が進んだ。このうち、かつてサトウキビプランテーションなどの労働力としてアフリカから連れてこられた人々と、ヨーロッパ系の入植者との間に生まれた混血、およびその子孫を指す呼称は何か。西インド諸島やブラジル東部において、全人口に占めるその割合が比較的高いことで知られている。 （2006年 全国公立入試 類似）

1. カボクロ 2. ムラート 3. メスチソ 4. サンボ

問2 アフリカ大陸の南端に位置し、金やダイヤモンドなどの豊富な鉱物資源を背景に高い経済発展を遂げた国がある。この国では、1950年時点の約40%から2015年の約65%へと、全人口に占める都市住民の割合が上昇を続けてきた。アフリカ諸国の中では比較的高い都市化の水準を示す、この国の名称を答えよ。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. チュニジア共和国 2. カメルーン共和国 3. 南アフリカ共和国 4. 南スーダン共和国

問3 近世のヨーロッパにおいて、火砲の発達という軍事技術の変化に対応し、死角をなくして防衛力を高めるために、星型の濠や強固な障壁で周囲を囲んだ都市の形態を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 植民都市 2. 宗教都市 3. 城郭都市 4. 自治都市

問4 東南アジアのある国では、国全体で高い人口増加率が維持されている。そのため、地方都市や農村部でも人口が増え続けており、そこからの人口押し出し圧力によって、今後も流入が継続すると予測されている、この国の首府を中心とする大都市圏はどこか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. ジャカルタ大都市圏 2. ハノイ大都市圏 3. マニラ大都市圏 4. バンコク大都市圏

問5 日本に居住する外国籍住民のうち、近代以降の歴史的経緯から日本に定住し、数世代にわたって国内で生活している人々が大きな割合を占める。近年、このグループは高齢化や日本国籍の取得（帰化）が進んでいることなどを背景に、登録者数が緩やかな減少傾向にある。この人々の主な国籍・地域として最も適当なものはどれか。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. フィリピン 2. 中国 3. 韓国・朝鮮 4. ブラジル

問6 イギリスの一部であり、アイルランド島の北東部に位置する地域で、同国への残留を望むプロテスタント（主にイギリス系入植者の子孫）と、隣国への統合を望むカトリック（主に先住民系）との間で、長年にわたり激しい対立が続いた地域はどこか。 （2004年 全国公立入試 類似）

1. 東ウクライナ 2. 北コーカサス 3. 北アイルランド 4. 沿ドニエストル

問7 ヨーロッパ諸国による植民地支配は、被支配地域の文化や社会に大きな影響を与えた。旧宗主国と旧植民地の間で主要な信仰宗教が共通している事例として、かつてスペインの支配を受け、現在もキリスト教のカトリックが広く信仰されている南米の国が挙げられる。この国はどこか。 （2019年 全国公立入試 類似）

1. パラグアイ 2. ベネズエラ 3. アルゼンチン 4. ウルグアイ

問8 日本において、人口の急激な減少と高齢化の進行により、地域社会の維持や生活機能の確保が困難になった状態、あるいはその地域を指す言葉を何というか。こうした状況にある地域や島嶼部では、本土の大都市へのアクセスが困難なため居住する市町内で日常の購買行動を行う割合が高くなる傾向がある一方、児童数の減少により小学校において異なる学年の児童を1つの学級に編制する割合が高くなり、さらに医療資源の偏在から人口当たりの医師数が少なくなるなどの社会的特徴が見られる。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. 流入 2. 過密 3. 流出 4. 過疎

問9 1950年代という世界的に極めて早い段階から、人口増加を抑制するために国家規模で「家族計画」が導入・実施されたものの、多産を好む伝統的な価値観や農村部での労働力需要などから十分な効果は上がらず、近年中国を抜いて世界最多の人口を抱えるに至った南アジアの国はどこか。 （2013年 全国公立入試 類似）

1. シリア 2. インド 3. イラク 4. イラン